



Gifu Univ.

第2回 特別セミナー

「地域イノベーションの成功要因」

- (1) 知的クラスター先行地域からの教訓
- (2) シカゴ大学におけるコンピュータ支援診断技術の実用化の経験

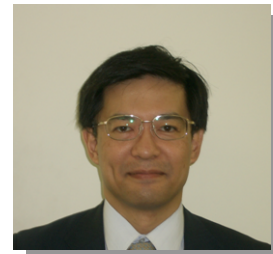
日時：平成17年10月7日(金) 16:00～18:50

場所：岐阜大学医学部 大会議室

齋藤尚樹 氏

(前 科学技術政策研究所 総括上席研究官)

- S62～ 東京大学大学院総合文化研究科広域科学修士 課程修了
- S62～ 科学技術庁入庁(科学技術政策局政策課)原子力局
官房総務課、青森県むつ小川原開発室副参事、
在オーストラリア大使館一等書記官等を歴任
- H12～ 科学技術庁科学技術政策局政策課補佐
- H13～ 科学技術政策研究所企画課長
- H15～ 同 第3調査研究グループ総括上席研究官
- H17～ 文部科学省研究振興局 基礎基盤研究課 量子放射線研究推進室長



主な著作等：-「地域科学技術・イノベーション関連指標の体系化に係る調査研究」(調査資料 No.114、科学技術政策研究所 2005年3月)・「主要な産学官連携・地域イノベーション振興の達成効果及び問題点」(NISTEP REPORT No.87、科学技術政策研究所 2005年3月)など

土井邦雄 氏

(シカゴ大学放射線科教授・カートロスマン放射線像研究所長)

- 1962年 早稲田大学理工学部応用物理学科卒業。
- 1962年 大日本塗料(株)極光研究所入所。
- 1969年 シカゴ大学放射線科研究員。
- 1977年 同大学放射線科教授・カートロスマン放射線像研究所長。
- 1994年 副科長兼任。
- Ralph W. Gerard Professor in the Biomedical Sciences の称号の教授でもある。
- コンピュータ支援診断(computer-aided diagnosis; CAD)の概念を世界で始めて考案され、多くの研究成果を挙げられており、長い間世界のトップレベルで活躍するノーベル賞候補クラスの日本人の一人



無料

岐阜大学 産官学融合センター
(財)岐阜県研究開発財団